

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003070	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toriba▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬学部5階 衛生化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2441		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00 ~ 12:50 (メールで要予約: toriba@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	初年次セミナーでは、大学入学前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における自主的な学修へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため、知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学修・実験のデザイン能力、レポートと口頭発表等によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な教育目標とする。また、大学での学修の入口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立て、後期以降の教養教育科目及び専門教育科目への継続を図ることを目的とする。また、長崎における薬学の歴史に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習ができるようになる。DP-1 2) 情報リテラシーとモラル、著作権、生成AIの概念と活用について説明できるようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学修・実験のデザイン能力、レポートと口頭発表等によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力が身に着いたかどうかは、到達目標に向けた学生の課題への取り組みとグループ討議での積極的な取り組み状況（20%）、プレゼンテーションと質疑応答での技能と態度（40%）およびレポート（40%）により評価する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学修：翌週で扱うテーマを提示するのでそれについてインターネットなどを使って情報収集を行う。また、プレゼンテーション資料の作成や発表に関する技能の向上を図る。（2h） 事後学修：ディスカッションなどで生じた課題や疑問点について整理・解決しプレゼンテーション資料作成に反映させる。また、講義内容およびプレゼンテーションにおける指摘事項等について十分な復習をする。（2h）
キーワード/Keywords	アクティブラーニング、情報リテラシー、著作権、生成AI、文章の書き方、文章の読み方、プレゼンテーションの方法、ディスカッションの方法、長崎薬学史
教科書・教材・参考書/Materials	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/8）5校時	自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明）（対面）
第2回（未定）5校時	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第3回（4/22）5校時	文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング）（対面）
第4回（5/13）5校時	文章の読み方（クリティカル・リーディング）（対面）
第5回（5/20）5校時	情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む））（対面）
第6回（5/27）5校時	著作権（対面）
第7回（6/3）5校時	生成AIの概念と応用（対面）
第8回（6/10）5校時	社会におけるデータ・AI等の活用事例（対面）
第9回（6/17）5校時	課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など（対面）
第10回（6/24）5校時	プレゼンテーションの方法（対面）
第11回（7/1）5校時	ディスカッションの方法（対面）
第12回（7/8）5校時	長崎薬学史（予習）（対面）

第13回（未定）	長崎薬学史（分析窮理所跡地、小島養生所、長崎大学医学部 良順会館150周年ミュージアム、薬専 防空壕跡地の慰霊碑等見学）（対面） * 第13回と第14回をセットにして見学に行く。
第14回（未定）	長崎薬学史（分析窮理所跡地、小島養生所、長崎大学医学部 良順会館150周年ミュージアム、薬専 防空壕跡地の慰霊碑等見学）（対面） * 第13回と第14回をセットにして見学に行く。
第15回（7/29）5校時	長崎薬学史（プレゼンテーション、レポート作成）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003071	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（薬学） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	真木 俊英 / Maki Toshihide		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	真木 俊英 / Maki Toshihide		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	真木 俊英 / Maki Toshihide		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	maki▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	薬品構造解析学研究室 第一研究室（呼び鈴を押してください。）		
担当教員TEL/Tel	095-819-2465		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9:00-11:00、15:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初年次セミナーでは、大学入学前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における自主的な学修へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため、知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学修・実験のデザイン能力、レポートと口頭発表等によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な教育目標とする。また、大学での学修の入口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立て、後期以降の教養教育科目及び専門教育科目への継続を図ることを目的とする。また、長崎における薬学の歴史に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習ができるようになる。DP-1 2) 情報リテラシーとモラル、著作権、生成AIの概念と活用について説明できるようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への積極的参加(30%)、発表(30%)、レポート(40%)
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	大学の情報資源を活用して、積極的に自分で考え・調べる習慣をつけてください。0.5時間の事前・事後学修が必須です。
キーワード/Keywords	アクティブラーニング、情報リテラシー、著作権、生成AI、文章の書き方、文章の読み方、プレゼンテーションの方法、ディスカッションの方法、長崎薬学史
教科書・教材・参考書/Materials	指定なし、授業の進行に合わせ、必要があれば指示します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	真木俊英/米国ミネソタ大学、マサチューセッツ工科大学において、化学合成と機能性分子開発経験 / 創薬プロセス、および構造活性相関の視点から指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス（１）：文章の読み方、書き方、ディスカッション、プレゼンテーション
第2回	ガイダンス（２）資料収集ガイダンス（中央図書館）日程の都合で、他の日程と替わる可能性があります。
第3回	著作権とは何か
第4回	生成AIの概念と応用
第5回	情報リテラシーとモラル
第6回	課題発見、リサーチクエスチョン、グループごとのテーマ議論
第7回	調査・グループディスカッション、情報の収集と編集について
第8回	調査・グループディスカッション、課題の背景と適切な引用
第9回	グループプレゼンテーション、全体討論、プレゼン対象への意識
第10回	調査・グループディスカッション
第11回	グループプレゼンテーション、全体討論
第12回	レポート作成と発表、イントロダクションの構成、引用文献の確認
第13回	レポートの作成と発表、質疑応答・ピアレビュー
第14回	プレゼンテーションとブラッシュアップ
第15回	プレゼンテーション、レポート完成

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003072	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松久 幸司 / Matsuhisa Koji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	松久 幸司 / Matsuhisa Koji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	松久 幸司 / Matsuhisa Koji		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	matsuhisa▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	薬学部本館4階 創薬薬理学分野 教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2473		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金(9:00~17:00)事前にメールでアポイントメントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初年次セミナーでは、大学入学前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における自主的な学修へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため、知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学修・実験のデザイン能力、レポートと口頭発表等によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な教育目標とする。また、大学での学修の入口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立て、後期以降の教養教育科目及び専門教育科目への継続を図ることを目的とする。また、長崎における薬学の歴史に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習ができるようになる。DP-1 2) 情報リテラシーとモラル、著作権、生成AIの概念と活用について説明できるようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4 6) 西洋薬学の発祥である長崎薬史学について学ぶことでグローバルな視点をもつことができるようになる。DP-6		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになるかどうか、科学的な思考や立案が出来るようになるか、学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになるかどうか、創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになるかどうか、ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになるかどうかは、レポート（40%）、プレゼンテーション（40%）、取組姿勢（20%）で評価する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：シラバスを参考に図書やインターネットなどで情報収集（2h） 事後学修：授業内容を図書やインターネットなどで復習（2h）
キーワード/Keywords	アクティブラーニング、情報リテラシー、著作権、生成AI、文章の書き方、文章の読み方、プレゼンテーションの方法、ディスカッションの方法、長崎薬学史
教科書・教材・参考書/Materials	長大生のためのラーニングチップス https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 長崎薬学史の研究 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングチップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/7）	自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、薬学部のディプロマポリシー、カリキュラムツリー）（対面：薬学部本館第1講義室）
第2回（4/14）	図書館活用ガイダンス（対面：中央図書館）
第3回（4/21）	長崎薬学史（予習）（対面：薬学部本館第1講義室）
第4回（4/25）	長崎薬学史（分析窮理所跡地、小島養生所、長崎大学医学部 良順会館150周年ミュージアム、薬専防空壕跡地の慰霊碑等見学）（対面：フィールドワーク） * 第4回と第5回をセットにして見学に行く。
第5回（5/12）	長崎薬学史（休講）
第6回（5/19）	文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング）（対面：薬学部本館第1講義室）
第7回（5/26）	文章の読み方（クリティカル・リーディング）（対面：薬学部本館第1講義室）
第8回（6/2）	情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む））（対面：薬学部本館第1講義室）
第9回（6/9）	著作権（対面：薬学部本館第1講義室）
第10回（6/16）	生成AIの概念と応用（対面：薬学部本館第1講義室）

第11回（6/23）	社会におけるデータ・AI等の活用事例（対面：薬学部本館第1講義室）
第12回（6/30）	課題発見、リサーチクエスション、問題関心（テーマ）の選択など（対面：薬学部本館第1講義室）
第13回（7/7）	プレゼンテーションの方法（対面：薬学部本館第1講義室）
第13回（7/14）	ディスカッションの方法（対面：薬学部本館第1講義室）
第15回（7/28）	長崎薬学史（プレゼンテーション、レポート作成）（対面：薬学部本館第1講義室）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003073	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	向井 英史 / Mukai Hidefumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	向井 英史 / Mukai Hidefumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	向井 英史 / Mukai Hidefumi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmukai ▲nagasaki-u.ac.jp(向井) (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス2 医歯薬学総合教育研究棟7階 医薬品情報学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-8564(向井)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00~13:00 事前にE-mailで予約すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初年次セミナーでは、大学入学前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における自主的な学修へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため、知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学修・実験のデザイン能力、レポートと口頭発表等によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な教育目標とする。また、大学での学修の入口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立て、後期以降の教養教育科目及び専門教育科目への継続を図ることを目的とする。また、長崎における薬学の歴史に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習ができるようになる。DP-1 2) 情報リテラシーとモラル、著作権、生成AIの概念と活用について説明できるようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになるかどうか、科学的な思考や立案が出来るようになるか、学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになるかどうか、創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになるかどうか、ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになるかどうかは、レポート（40%）、プレゼンテーション（40%）、取組姿勢（20%）で評価する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：シラバスを参考に図書やインターネットなどで情報収集（2h） 事後学修：授業内容を図書やインターネットなどで復習（2h）
キーワード/Keywords	アクティブラーニング、情報リテラシー、著作権、生成AI、文章の書き方、文章の読み方、プレゼンテーションの方法、ディスカッションの方法、長崎薬学史
教科書・教材・参考書/Materials	長大生のためのラーニングチップス https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 長崎薬学史の研究 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングチップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	向井英史／博士研究員・研究室主宰者として国立研究開発法人理化学研究所にてドラッグデリバリーシステムや分子イメージング科学分野の基礎研究を行なう実務経験／創薬研究者や医療従事者として必要な資料収集・レポート作成・グループワーク・プレゼンテーション能力の基礎を養う
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回：4月7日16:50-18:20	自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明）（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）
第2回：4月14日16:10-17:40（予定）	長崎薬学史（予習）（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）
第3回：4月25日12:50-14:20（予定）	長崎薬学史（分析窮理所跡地、小島養生所、長崎大学医学部 良順会館150周年ミュージアム、薬専防空壕跡地の慰霊碑等見学）（対面） ＊第3回と第4回をセットにして見学に行く。
第4回：4月25日14:30-16:00（予定）	長崎薬学史（分析窮理所跡地、小島養生所、長崎大学医学部 良順会館150周年ミュージアム、薬専防空壕跡地の慰霊碑等見学）（対面） ＊第3回と第4回をセットにして見学に行く。
第5回：5月12日16:10-17:40（予定）	文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング）（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）
第6回：5月19日16:10-17:40（予定）	文章の読み方（クリティカル・リーディング）（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）
第7回：5月26日16:10-17:40（予定）	情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む））（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）

第8回：6月2日16:10-17:40（予定）	著作権（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）
第9回：6月9日16:10-17:40（予定）	生成AIの概念と応用（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）
第10回：6月16日16:10-17:40（予定）	社会におけるデータ・AI等の活用事例（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）
第11回：6月23日16:10-17:40（予定）	図書館資料収集ガイドンス（対面：中央図書館）
第12回：6月30日16:10-17:40（予定）	課題発見，リサーチクエスチョン，問題関心（テーマ）の選択など（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）
第13回：7月7日16:10-17:40（予定）	プレゼンテーションの方法（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）
第14回：7月14日16:10-17:40（予定）	ディスカッションの方法（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）
第15回：7月28日16:10-17:40（予定）	長崎薬学史（プレゼンテーション、レポート作成）（対面：坂本キャンパス2、医歯薬学総合教育研究棟1B講義室）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003074	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kishika▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	薬品分析化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2445		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金 10:00～17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初年次セミナーでは、大学入学前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における自主的な学修へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため、知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学修・実験のデザイン能力、レポートと口頭発表等によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な教育目標とする。また、大学での学修の入口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立て、後期以降の教養教育科目及び専門教育科目への継続を図ることを目的とする。また、長崎における薬学の歴史に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習ができるようになる。DP-1 2) 情報リテラシーとモラル、著作権、生成AIの概念と活用について説明できるようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート（40％）、プレゼンテーション（40％）、取組姿勢（20％）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：シラバスを参考にインターネットなどで情報収集（2h） 事後学修：授業内容をインターネットなどで復習（2h）
キーワード/Keywords	アクティブラーニング、情報リテラシー、著作権、生成AI、文章の書き方、文章の読み方、プレゼンテーションの方法、ディスカッションの方法、長崎薬学史
教科書・教材・参考書/Materials	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 長崎薬学史の研究 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/8	自立的な学びの仕組み（対面）
第2回 4/15	図書館資料収集力・イタ・ンス（対面）
第3回 4/22	情報リテラシーとモラル（対面）
第4回 5/13	著作権（対面）
第5回 5/20	生成AIの概念と応用（対面）
第6回 5/27	長崎薬学史（坂本地区史跡見学）
第7回 6/3	社会におけるデータ・AI等の活用事例（対面）
第8回 6/10	課題発見，リサーチクエスト，問題関心(テーマ)の選択（対面）
第9回 6/17	課題調査（対面）
第10回 6/24	プレゼンテーションの方法（対面）
第11回 7/1	文章の読み方、文章の書き方（対面）
第12回 7/8	長崎薬学史（分析窮理所跡地、小島養生所見学）（対面） ＊第12回と第13回をセットにして見学に行く。
第13回 7/15	長崎薬学史（分析窮理所跡地、小島養生所見学）（対面） ＊第12回と第13回をセットにして見学に行く。
第14回 7/22	長崎薬学史（プレゼンテーション、レポート作成）（対面）
第15回 7/29	ディスカッションの方法：メンターの研究を理解する。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003075	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(薬学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上田 篤志 / Ueda Atsushi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	上田 篤志 / Ueda Atsushi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	上田 篤志 / Ueda Atsushi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aueda▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	薬学部本館3階薬化学第1研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2425		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 13:00-14:00(事前にメールで〃の予約か〃望ましい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初年次セミナーでは、大学入学前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における自主的な学修へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため、知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学修・実験のデザイン能力、レポートと口頭発表等によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な教育目標とする。また、大学での学修の入口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立て、後期以降の教養教育科目及び専門教育科目への継続を図ることを目的とする。また、長崎における薬学の歴史に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習ができるようになる。DP-1 2) 情報リテラシーとモラル、著作権、生成AIの概念と活用について説明できるようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	到達目標に向けた課題への取り組みとグループディスカッションにおける積極的な取り組み(40%)、グループプレゼンテーションと質疑応答における技能・態度(40%)、およびレポート(20%)により評価する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	ディスカッション、プレゼンテーション、レポート提出に向けて予習（2h）および復習（2h）を行うこと。
キーワード/Keywords	アクティブラーニング、情報リテラシー、著作権、生成AI、文章の書き方、文章の読み方、プレゼンテーションの方法、ディスカッションの方法、長崎薬学史
教科書・教材・参考書/Materials	長崎大学薬学部 長崎薬学史の研究 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html 下村脩名誉博士へシャルコンテンツ http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/shimomura/index.html 長崎大学薬学部百年史/長崎大学薬学部 出島のくすり/長崎大学薬学部
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 医薬品や長崎の薬学に関して相互理解を深めながら、科学的思考・学習能力を高めましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4月8日）	自立的な学びの仕組み（対面）
第2回（4月15日）	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第3回（4月22日）	文章の書き方と読み方（対面）
第4回（未定）	長崎薬学史（分析窮理所跡地、長崎（小島）養生所跡資料館見学、所要時間3時間）（対面）
第5回（5月20日）	情報リテラシーとモラル、著作権（対面）
第6回（5月27日）	長崎薬学史（坂本地区史跡見学、中グループ）（対面）
第7回（6月3日）	グループ内で調査報告と意見交換、プレゼンテーション資料の作成（対面）
第8回（6月10日）	第4回の振替休（対面）
第9回（6月17日）	下村脩名誉博士顕彰記念館見学、下村脩名誉博士のプレゼンを視聴 https://www.youtube.com/watch?v=QzCmULUgMpY （対面）
第10回（6月24日）	生成AIの概念と応用（対面）
第11回（7月1日）	社会におけるデータ・AI等の活用事例（対面）
第12回（7月8日）	プレゼンテーションの方法、プレゼンテーション資料の作成（対面）
第13回（7月15日）	課題発見，リサーチクエスト，問題関心(テーマ)の選択、プレゼンテーション資料の作成（対面）
第14回（7月22日）	長崎薬学史（プレゼンテーション、レポート作成、中グループ）（対面）
第15回（7月29日）	ディスカッションの方法：メンターの研究を理解する（中グループ）（対面）